

令和7年度第2回小金井市気候市民会議 報告書

1. 小金井市気候市民会議の目的

「小金井市気候非常事態宣言」（令和4年1月発出）では2050年までのゼロカーボンシティの実現を目指している。その目的達成に向けて、市民が自分ごととして取り組むことができる地球温暖化対策に係る行動を検討し、実行するための行動計画等を提言としてとりまとめることなどを目的に、気候市民会議を実施する。

2. 第2回小金井市気候市民会議の目的

第1回の結果とフィールドワークの内容を踏まえて、小金井市における課題の解決に向けた取組について意見交換を行い、提言案の抽出・整理をすることを目的とした。

3. 開催概要

テーマ	「課題解決に向けた取組の検討」
日時	令和7年8月2日（土曜）13時30分～16時45分
会場	市民会館萌え木ホール（商工会館3階）
参加者	無作為で選出された小金井市民 17名
スタッフ	小金井市職員、エヌエス環境株式会社職員 11名

4. 当日の流れ

- 13時00分～ 受付
- 13時30分～ 第2回小金井市気候市民会議 開会（環境政策課長 岩佐 健一郎）
- 13時35分～ 第1回小金井市気候市民会議及びフィールドワークの報告
- 13時40分～ 「家庭部門の脱炭素について」
(住環境計画研究所 主任研究員 岡本 洋明 氏)
- 14時15分～ 休 憩
- 14時25分～ グループワークの説明
- 14時35分～ グループワーク「課題解決に向けた取組の検討」
 - A グループ テーマ「再生可能エネルギー・省エネルギー」
 - B グループ テーマ「公共交通・移動手段（EV化、自転車など）」
 - C グループ テーマ「ごみの減量化とリサイクル」
 - D グループ テーマ「緑地の保全・創出」
 - E グループ テーマ「意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ」
- 15時50分～ 休 憩
- 16時00分～ 各グループ発表（5グループ）
- 16時30分～ 第2回小金井市気候市民会議 総括
(住環境計画研究所 主任研究員 岡本 洋明 氏)
- 16時35分～ 第2回小金井市気候市民会議 総括（小金井市副市長 神山 伸一）
- 16時40分～ 第3回小金井市気候市民会議の説明
- 16時45分 ワークショップ終了

5. 開催風景



岩佐課長による開会の挨拶



岡本氏によるご講演



グループワークの様子1



グループワークの様子2



グループワークの様子3



発表の様子



岡本氏による講評



神山副市長による講評

6. グループワークの結果

①各グループ意見の整理

【意見分類】

●市民の取組 ●事業者の取組 ●市（行政）の取組 ●教育機関、その他の取組

【A グループ】「再生可能エネルギー・省エネルギー」

●市民の取組

ネガティブイメージを払拭する！	意識改革、能動的に情報を得る
省エネ・再エネを意識する	市民にランクを、動機付けに
自治会や町内会を活用する	ごみを出すときや電化製品を使うとき、捨てる時に少しでも省エネを意識する。この時に本質をつかめるよう情報を探す。

●事業者の取組

有名企業（ジブリ）の活用、教習所	ZEB、ZEH 省エネアピール
家電量販店で省エネ、再エネの展示、効果の PR	エネファームなどの省エネ機器のアピール
電気料金を時間帯で変える	

●市（行政）の取組

再エネや省エネの市の取り組みを見やすくしてほしい。	市のホームページが見つらくて情報が得づらい。
再開発にあわせてシンボリックな施設づくり PR する（省エネ、再エネ）。	ソーラーパネルの寿命・廃棄の情報開示。
音が出る車で市内を回って呼びかける	省エネ、再エネ事業者と連携
再エネ、省エネ機器広域調達、業者連携	優良事業者に助成する
シェアするスクーターを普及させる CoCo バス etc.	自転車を使いやすい環境にしてほしい。（道、駐輪場）
江戸・東京たてもの園に省エネ、再エネ住宅を！	サステナブルパークや環境楽習館で今ある展示を活用する。小学生・中学生に体験に来てもらう。（教育機関と連携して）

●教育機関、その他の取組

幼稚園・小学校・中学校・高校・大学でそれぞれの時期に応じて教育する。小さい頃は、ゲームで良い。高校・大学はディスカッションをする	近隣大学の学生がやる。省エネ、再エネの授業を町内会の集まりなどでやる。エネ育
市民の目に触れやすいところでイベントをやる。ex)イトーヨーカドー、宮地楽器ホールの1F	農工大ソーラーパネル取組み市とともにアピール



【B グループ】「公共交通・移動手段(EV 化、自転車など)」

●市民の取組

宅配サービスを利用し自家用車利用減	せめてハイブリッド車への乗りかえ (本当は EV 車・・・)
荷物を送れば公共交通手段を使いやすい	

●事業者の取組

タクシーのエコ化	ネット注文まとめて配送するオプション
民間駐輪場が儲かる仕組み	電気自転車のシェアサイクル
乗りたい時にない (シェア)	

●市（行政）の取組

EV 充電器の増設	エコカーのりかえへの補助金・情報周知
CoCo バス路線が検索しても出てこない （市の PDF で見るのは・・・）	CoCo バスの本数、路線が限定的で乗りづらい
若い人が乗りづらい（年寄り優先）	無料回数券を配る
駐輪場を駅以外に拡充する	自転車道路を広げる
酷暑、極寒、風雨をしのげる地下道の整備	

●教育機関、その他の取組

シフトを促す物語を作って話す



【C グループ】「ごみの減量化とリサイクル」

●市民の取組

個人の食品ロスも多いのではないかな	分別の照会先を表示する（落葉、土）
自己意識を高める、個人がわかるように	電池・バッテリーの廃棄を他と分かりやすく差別化する（他の危険ごみと危険性がことなり、材料も貴重なため）
カーボンフットプリントの商品購入	

●事業者の取組

商品の購入者に廃棄の仕方を周知する ようにする	リチウムのすて方を学校などで教えて 欲しい
----------------------------	--------------------------

●市（行政）の取組

市民団体と市で協働した取組の実施	生ゴミ処理機の無料提供
ごみの分別の情報発信の方法の最適化 （ふさわしい媒体を考える）について 議論する	分別やゴミを減らすことでどれだけ CO2 削減につながるか示す（数値などが 分かりやすく）
リサイクルしたものの処理がいくらし て、最後にどのようなになっているか見 える化	市民がほしい情報に、市が伝えたい情 報を広告のようなかたちでさしこめな いか
市民活動団体、関係団体に概要版の推 進計画を印刷して配布	分別などを見れる手帳サイズの資料な どを作ってもらいたい
分別をわかり易くすぐに見られるよう に	ゴミアプリの宣伝、周知（つくって終わ りじゃもったいない）
計画や分別に関する概要や説明会を実 施してもらいたい	市から情報発信回数を増やすことと、 いつ何を発信しているか周知する
食品を取り扱う商店・飲食店とフード ロス対策や生ごみの有効な処理に長け た事業者との連携を進めるために、市 が仲介する（紹介する）	

●教育機関、その他の取組

家庭科の授業でゴミの分別まで調理実 習など食やモノづくりの授業で行う （指導する）	リチウムバッテリーの危険性や被害が 出た時の規模を学校で教える。
小金井市施設の予約システムからごみ 処理情報を出す（チェックできる）	リチウムバッテリーの廃棄先を明示 （廃棄物の出し方？）
給食の残飯の見える化・活用	



【D グループ】「緑地の保全・創出」

●市民の取組

グリーンカーテンの設置（エアコン室外機 のしゃ熱にも効果）	落葉等のゴミ拾いのボランティア 参加
地域の緑化維持活動 ex 草むしり、水やりなど 家庭菜園	

●事業者の取組

ボランティアの情報提供が必要 →ボランティアセンターなど情報発信組織 →ボランティアだけでなくイベント情報も	事業所における緑化率向上施策の 実施（屋上・壁面など）行政と連 けいも要
市は苗や種を提供	

●市（行政）の取組

苗をプレゼントする	事業者（植木屋、農家、JA）はワー クショップの講師として協力
街路樹の本数を増やす ・葉の割合が多くヒカゲになるもの ・散歩コースをメインに	・遊林公園の整備・メンテ ・デジタルサイネージを公園に設 置して情報発信
マンション開発事業者と連携いし、緑化率 を上げる 施策・助成など実施	市の保有地を緑化活用 ・市民農園の利用促進・補助など
公園での熱中症対策 →暑すぎて公園にいけない 日陰スペース、 飲料配布	今ある木の葉の割合をふやす ・枝を正しく切るなどのメンテナ ンスをする

●教育機関、その他の取組

家庭菜園ワークショップをひらく →家庭で緑化を拡大	学校の課外活動で植樹する ・日陰を増やし外にいる時間がふえる
------------------------------	-----------------------------------



【E グループ】「意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ」

●市民の取組

情報・発信 小さいつながりを作る (コミュニティ)	教育機関及びその他で行われる活動に 積極的に参加し、意識を高める
------------------------------	-------------------------------------

●事業者の取組

企業と子ども会のタイアップによる環 境意識向上 見学・説明	教育団体との連携強化(社会的責任 CSR として) 施設や設備に貢献 プレ ゼン大会
----------------------------------	--

●市(行政)の取組

ジブリを活用	インフルエンサーにお願いする。
野川探訪・小金井公園などでのイベン ト等に参加した人にポイント付与	環境問題について義務教育機関と提供 側のマッチアップが可能なサイト開設
電気使用量の見える化 他との比較	還元・ポイントがほしい

●教育機関、その他の取組

小金井市の特色： ・大学が多い ・緑地が多い	左記特色を踏まえ、各小・中・高と大学と連携をもっと強める必要がある。 小金井の子＝自然現象と科学的に考えられる子
小金井の子としてプレゼン 各小・中テーマを決めて（小金井市限定）	大学の専攻や学部、ボランティアサークルによる説明会やフィールドワーク



②グループ発表要旨

【A グループ】

省エネや再エネについて、意識改革や情報提供が重要であることが提示された。省エネや再エネは身近に感じにくいため、まずはそのきっかけを作ることが大切であり、教育機関や自治体との連携が提案された。また、PR活動においては、ネガティブなイメージを払拭し、ポジティブな未来を描くことが必要であることが提示された。市の取組を見やすくすることや、ランドマーク施設と連携したPRが提案された。さらに、時間帯による電気料金の設定や省エネの展示などの具体的な施策が提案され、市民が参加しやすい環境を整えることが求められた。



【B グループ】

公共交通と移動手段について、自動車利用の低減と自転車利用に焦点をあてた意見が述べられた。移動の快適性を重視し、車の利用を減らすために宅配サービスの活用が提案された。また、バスの利用促進については、小金井市のコミュニティバスが使われにくい問題を指摘し、情報提供の強化や若者向けの回数券配布などが提案された。自転車に関しては、駐輪場の不足が課題となっており、シェアサイクルの普及を促進することが解決策とされた。教育面では、エコな移動手段についての知識を広める重要性が強調され、地域の教育機関との連携を通じて意識を高めることが求められた。



【C グループ】

ごみに対する市民の意識づけが重要であり、地域活動を通じて情報提供を強化することが提案された。生ごみやフードロスについては、個人の食品ロスを減らすための意識改革や、行政が生ごみ処理機の無料提供を行うことが提案された。また、教育機関との連携を通じて、調理実習などでごみの分別を楽しく学べる機会を設けることが求められた。

リチウムイオン電池の廃棄方法について、市民教育の必要が示された。ごみの分別に関する情報発信の改善や意識向上のための具体的な施策が求められており、市民が正しい分別を行えるよう促すことが重要であると示された。



【D グループ】

小金井市における自然の不足が指摘された。大きな公園はあるものの、駅周辺や住宅街では自然を感じる機会が少ない現状という現状にあり、住宅の密集化により、家庭での庭や家庭菜園の設置が難しくなっている。そのため、家庭菜園やグリーンカーテンの推進が提案された。市から種の提供やワークショップを行うことで、家庭菜園を始めやすくすることが期待された。また、街並みの緑化として、街路樹の本数を増やし、整備が行われていない小さな公園の管理を行うことが提案された。既存の街路樹の葉の量を増やすことで、日陰が増え、外出しやすくなるという利点もあげられた。



【E グループ】

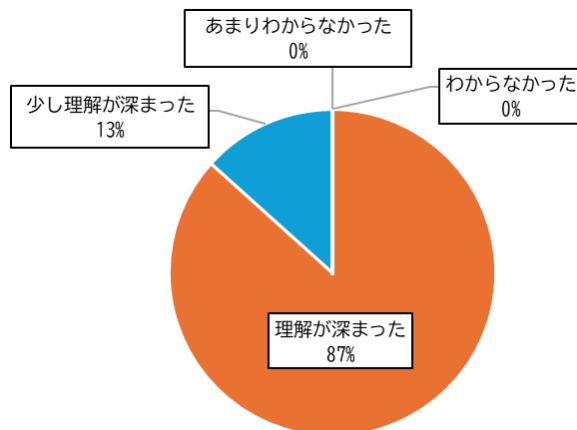
意識付けの重要性が強調され、ボランティア活動へのインセンティブや電気使用量の見える化などが提案された。また、プレゼン大会などの場を設けて他の人の取り組みを共有することが意識向上に寄与すると予想された。コミュニティに関しては、小さな単位でのつながりを大切にし、情報発信の仕組みを整えることが提案された。スタジオジブリやインフルエンサーとの協力による広範な情報発信も期待された。教育面では、地域の大学との連携を通じて、多面的な学習機会を提供することが提案され、企業とのダイアログや見学会を通じて相互理解を深めることが重要視された。市が教育機関と企業をつなぐマッチングの役割を果たすことが期待された。



7. 第2回小金井市気候市民会議アンケート結果

質問1 本日の講演「家庭部門の脱炭素について」はいかがでしたか？

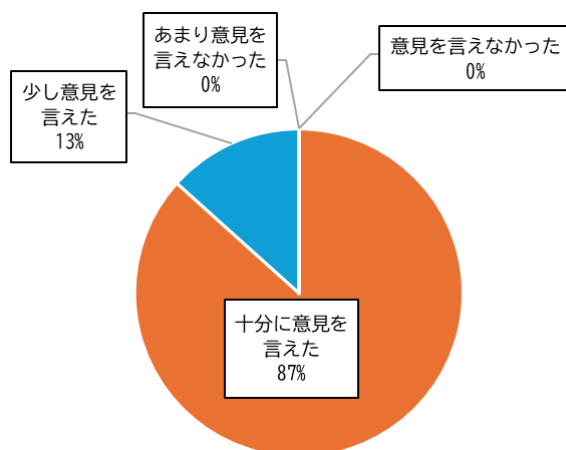
回答項目	回答数
理解が深まった	13
少し理解が深まった	2
あまりわからなかった	0
わからなかった	0



- 【その他】
- ・家庭部門のデータ、情報を知る機会となった。
 - ・考えるきっかけになった。
 - ・岡本さんの公演がとにかく興味を惹き、わかりやすかった。

質問2 本日のグループワークはいかがでしたか？

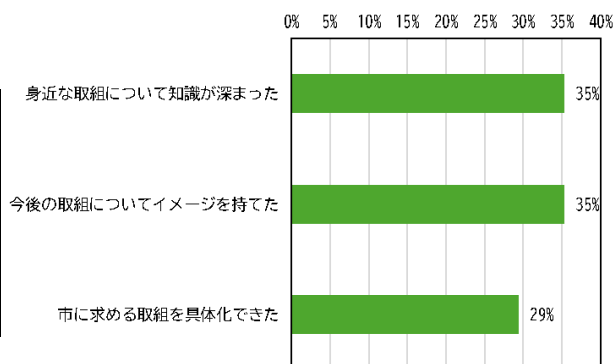
回答項目	回答数
十分に意見を言えた	13
少し意見を言えた	2
あまり意見を言えなかった	0
意見を言えなかった	0



- 【その他】
- ・メンバーの皆様が活発で楽しく意見が言いあえた。
 - ・様々な年齢層のひとと話すことができたから

質問3 今回(第2回)の気候市民会議で良かったことは何ですか？

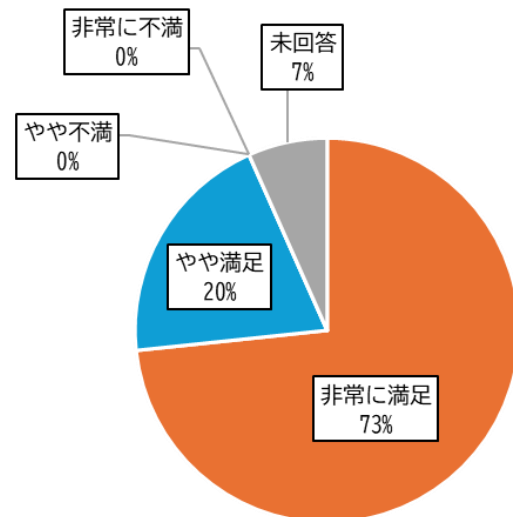
回答項目	回答数
身近な取組について知識が深まった	6
今後の取組についてイメージを持てた	6
市に求める取組を具体化できた	5



- 【その他】
- ・自分にはない様々な意見がきけた。
 - ・様々な人と話す機会があった

質問4 今回(第2回)の気候市民会議の満足度はいかがでしたか？

回答項目	回答数
非常に満足	11
やや満足	3
やや不満	0
非常に不満	0
未回答	1



質問5 次回以降の気候市民会議に求めることがあればご自由にお書き下さい。
(自由意見)

ポスイトを書き始める前に解決したい問題を整理するために、進め方を決める必要がありました。ホワイトボードがなかったので、A3の紙を使用しました。紙があるとうれしいです。その生ができたので、最終発表もスムーズに移行できました。あと、岡本先生の講義も前後にあったので、考え方、議論の進め方が整理されやすくよかったです。
広く意見を集めることは重要ですが、どうやってまとめるかが心配。総花的な提言の中に新たなキーワードがあることを期待します。
令和7年度小金井市一般廃棄物処理計画を読みました。市の取組内容が伝わります。
第3回で提言書を作成し市長に手渡し そこまで絞り込めるのか!?

質問6 その他、ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい。(自由意見)

具体的な目標に対して、予算と効果まで議論ができると言い放しで終わらないと感じます。
岡本先生のお話は素人にもわかりやすく納得感がありました。ありがとうございました。
市民、市、教育機関、事業者の連携をすすめることで気候変動に対応力が高まると思います。小金井市に限らず、多摩地域、都との連携をすすめて下さい。
講義がとてもおもしろかったです。
講演勉強になりました。ありがとうございます。
学生さんと思える方の参加が多いことに驚きました。このような会に参加されてる方々は分別回収も気をつけてしているかと思います。他の人の啓発が課題なのかと。